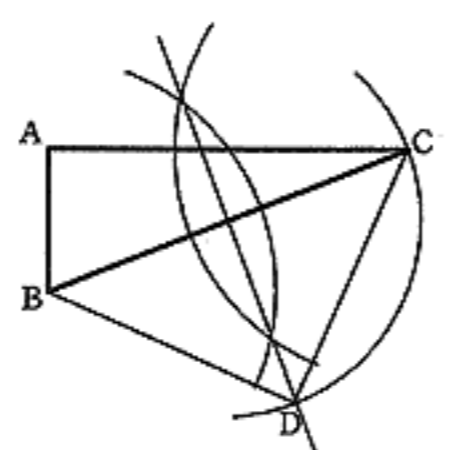
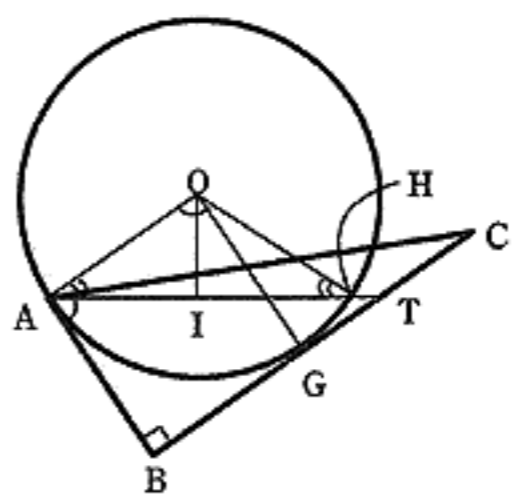


問題番号	正 答	配点
[問1]	$\frac{1}{18}$	6
[問2]	$-3+4\sqrt{10}$	6
[問3]	$x=8, y=12$	6
[問4]	56, 126	6
[問5]	$\frac{13}{20}$	6
[問6]	18 度	6

問題番号	正 答	配点
[問1]	$\frac{27}{2} \leq S \leq \frac{75}{2}$	6
[問2]	(-10, -11)	6
[問3] 解答例	【途中の式や計算など】 点 P の x 座標を t とおくと、点 P と点 Q は、原点 O を対称の中心として点対称な位置にあるので、点 Q の x 座標は -t と表せる。 点 P は曲線 l 上の点であるから、 $P(t, \frac{1}{4}t^2)$ となる。点 Q は直線 m 上の点であるから、x 座標が -t のとき $y = \frac{1}{2}(-t) - 6 = -\frac{1}{2}t - 6$ より、 $Q(-t, -\frac{1}{2}t - 6)$ となる。 y 座標についても、点 P と点 Q は、原点 O を対称の中心として点対称な位置にあるので、点 P の y 座標が $\frac{1}{4}t^2$ のとき、点 Q の y 座標は $-\frac{1}{4}t^2$ と表せる。点 Q の y 座標は同じだから、 $-\frac{1}{2}t - 6 = -\frac{1}{4}t^2$ $t^2 - 2t - 24 = 0$ $(t+4)(t-6) = 0$ $t = -4, 6$ 点 P から x 軸に引いた垂線と x 軸との交点を H とおくと、三平方の定理より $OP^2 = OH^2 + PH^2$ が成り立つ。 $t = -4$ のとき、 $P(-4, 4)$ より、 $OP^2 = 4^2 + 4^2 = 32$ $OP > 0$ より $OP = \sqrt{32} = 4\sqrt{2}$ $PQ = 2OP$ より $PQ = 8\sqrt{2}$ 同様に、 $t = 6$ のとき、 $P(6, 9)$ より、 $OP^2 = 6^2 + 9^2 = 117$ $OP = \sqrt{117} = 3\sqrt{13}$ $PQ = 2OP = 2 \times 3\sqrt{13} = 6\sqrt{13}$ (答え) $8\sqrt{2}$ cm と $6\sqrt{13}$ cm	9

問題番号	正 答	配点
[問1] 解答例	【作 図】 	7
[問2] 解答例	【証 明】 AC//EF, AE//CFより四角形AEFCは平行四辺形である。 $\angle BAC = 90^\circ$ であるから $\angle EFC = 90^\circ$ $\angle AEF = \angle FCA$, $\angle AEF + \angle FCA = 180^\circ$ から $\angle AEF = 90^\circ$ ゆえに、 $\angle BED = \angle DFC = 90^\circ$ ---① $\triangle BED$ で $\angle BED = 90^\circ$ より、 $\angle EBD + \angle EDB = 90^\circ$ $\angle EBD = 90^\circ - \angle EDB$ ---② $\angle EDF = 180^\circ$ で、仮定より $\angle BDC = 90^\circ$ であるから、 $\angle EDB + \angle FDC = 180^\circ - 90^\circ = 90^\circ$ $\angle FDC = 90^\circ - \angle EDB$ ---③ ②, ③より $\angle EBD = \angle FDC$ ---④ $\triangle BED$ と $\triangle DFC$ において ①より $\angle BED = \angle DFC = 90^\circ$ 仮定より $BD = DC$ ④より $\angle EBD = \angle FDC$ 直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいので、 $\triangle BED \cong \triangle DFC$	9
[問3]	$\frac{20}{7}$ cm	6

問題番号	正 答	配点
[問1]	$\frac{33}{5}$ cm	6
[問2]	128 cm ³	6
[問3] 解答例	【途中の式や計算など】 $\triangle ABC$ を正面から見た図で考える。 	9
[問4]	(答え) $(\frac{110}{3}\pi - \frac{25\sqrt{3}}{2})$ cm ²	6

この図において円の中心をO、円Oと辺BCとの接点をGとする。このとき四角形OABGは、 $\angle ABG = \angle BGO = 90^\circ$, $AB = OG = 5$ cm より長方形であり、さらに $OA = 5$ cm より正方形である。よって、円Oは点Aで辺ABに接しているため、 $\angle OAT = 90^\circ - 60^\circ = 30^\circ$ である。線分ATと円Oとの交点で、Aではない方をHとすると、 $\triangle OAH$ は $OA = OH$ の二等辺三角形であり、 $\angle OHA = \angle OAH = 30^\circ$ より、 $\angle AOH = 180^\circ - 30^\circ \times 2 = 120^\circ$ となる。さらに $\triangle OAH$ において点Oより辺AHへ引いた垂線とAHとの交点をIとすると、 $\triangle OAI$ は辺の長さの比が $1:2:\sqrt{3}$ の直角三角形であるから、 $OI = \frac{1}{2}OA = \frac{5}{2}$ (cm),
 $AI = \frac{\sqrt{3}}{2}OA = \frac{5\sqrt{3}}{2}$ (cm) となって、 $AH = 2AI = 5\sqrt{3}$ (cm) となる。
円柱の底面で水と触れている部分の面積は、扇形OAHから $\triangle OAH$ を除いた部分の面積の2倍だから、
$$(\pi \times 5^2 \times \frac{120}{360} - \frac{1}{2} \times \frac{5}{2} \times 5\sqrt{3}) \times 2 = \frac{50}{3}\pi - \frac{25\sqrt{3}}{2}$$
 (cm²) ... ①
また、円柱の側面については
$$2\pi \times 5 \times \frac{120}{360} \times 6 = 20\pi$$
 (cm²) ... ②
よって①+②より、
$$(\frac{50}{3}\pi - \frac{25\sqrt{3}}{2}) + 20\pi = \frac{110}{3}\pi - \frac{25\sqrt{3}}{2}$$
 (cm²)

問題番号		正 答	配点		
1	問題A	対話文 1	4		
		対話文 2	4		
		対話文 3	4		
	問題B	Question 1	1 については、共通問題の採点基準に同じ	4	
		Question 2		4	
2	〔問1〕			エ	4
	〔問2〕			ウ	4
	〔問3〕	①		highest	4
		②	memory	4	
	〔問4〕		ア	4	
	〔問5〕		take me there	6	
	〔問6〕		views	4	
	〔問7〕		エ → イ → オ → ウ → ア	6	
3	〔問1〕	(1)-A	イ	2	
		(1)-B	ウ	2	
	〔問2〕	1	オ	4	
		2	ウ	4	
	〔問3〕		should be very careful when we ride a bike	6	
	〔問4〕		dangerous	4	
	〔問5〕		イ	4	
	〔問6〕		ア	4	
	〔問7〕		イ	エ	4
	〔問8〕		省略	10	